

令和3年9月21日

6年生保護者様

丹波篠山市立今田小学校

校長 堀 香 織

今田小学校6年 学習・生活に関する学力・生活向上プラン ～全国学力・学習状況調査～

本校では、6年生を対象に5月27日実施しました「全国学力・学習状況調査」及び「市学力・生活状況調査」の結果をもとに授業の改善等を行うため、本紙『学習・生活に関する学力・生活向上プラン』を作成しました。学力・学習状況をご確認いただき、今後の学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

【学力に関する調査結果の概要】

国語・算数（全国学力・学習状況調査）の平均正答率（%）

| 国語 | | 算数 | |
|-----|------|-----|------|
| 本校 | 72 | 本校 | 73 |
| 兵庫県 | 64 | 兵庫県 | 71 |
| 全国 | 64.7 | 全国 | 70.2 |

国語

全国よりも高い正答率でした。「読むこと」については、良好な結果でした。しかし、自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えながら文章を書くことに関しては少し課題が見られます。

○次のことに重点を置き、指導していきます。

- ・ディベートや話し合い活動の場を設定し、相手の意図を読み取りながら、目的に応じて質問を工夫する機会を増やしていきます。
- ・大事なことをメモしながら聞く指導や、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように工夫して文章を書く機会を増やしていきます。

算数

全国の正答率よりやや高かったです。「図形」については良好な結果でした。しかし、「データの活用」については課題が見られました。具体的には、資料やグラフの数値を正しく読み取ることや、課題解決のためにどのデータを集めるべきか判断することに弱点が見られました。また、算数を苦手と感じている児童も多く、基礎基本の知識技能を身につけていく必要があります。

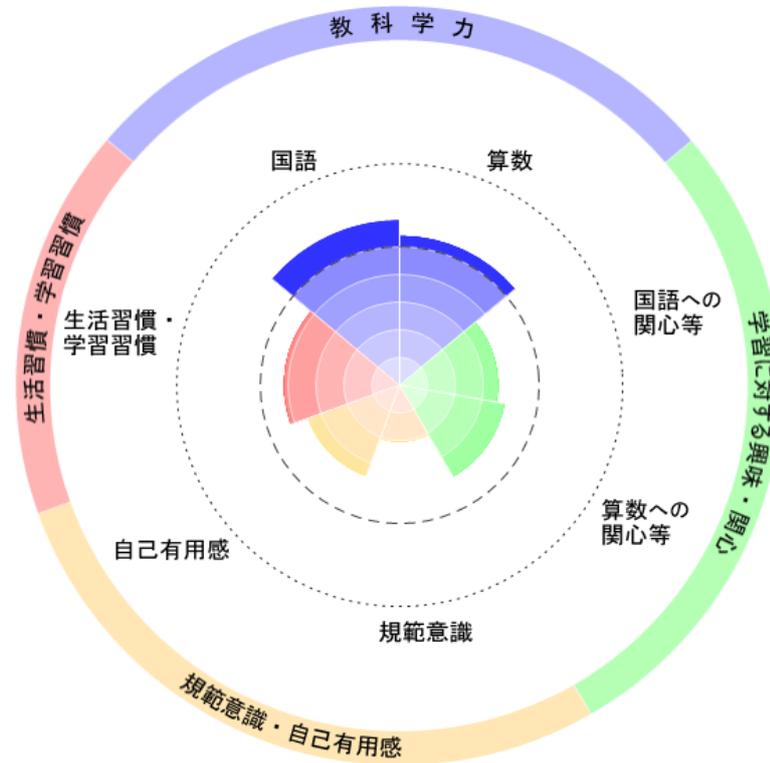
○次のことに重点を置き、指導していきます。

- ・文章や資料を正しく読みとり、課題解決のために、知識や技能を活用し、思考・判断・表現できる力を身につけさせていきます。
- ・今後も個に応じたきめ細かい指導に努め、個別指導を充実させていきます。

【児童質問紙の調査結果の概要】

(質問内容を学習に対する興味・関心、規範意識・自己有用感、生活習慣・学習習慣の3領域に分類してまとめています。学力調査(教科学力)との関連も明示されています。)

※内側の点線---が全国基準の平均値です



【考察結果】

3項目すべてにおいて全国平均値を下回る課題のある結果でした。中でも自己有用感、規範意識、学習に対する興味・関心に課題があり、これらの向上が今後の課題であることがわかりました。

○次のことに重点を置き、指導していきます。

- ・最高学年としてリーダーシップを発揮する場を設定し、学校行事や教科の学習でやり遂げたことを認め、達成感や成就感を味わわせ、自己有用感や向上心を高める指導を継続していきます。加えて、自分の言動に自信を持たせ、意欲的に学習に取り組み、いきいきとした学校生活を送れるよう支援します。
- ・具体的な生活場面での目標設定や行動のふりかえりを行い、学校生活や社会生活における規範意識を向上させます。具体的には「指示されたことを守る」という受動的な意識から「言動の理由や、影響を想像して守るべきことを見つける」という能動的な意識へ変えていけるよう支援していきます。
- ・子供たちの生活の様子をしっかりと観察し、気になることがあればすぐに声をかけるなど、いじめの未然防止や早期発見にこれまで以上に力を入れて取り組みます。仲間づくりを進め、いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、子供の心に寄り添った組織的な生徒指導を進めます。